

「希望の根拠」

ヨハネによる福音書 3章 1節～15節

説教 軽込 昇 牧師

主イエスの活動は、圧倒的に民衆に支持されましたが、それに反比例して、ユダヤの指導者たちから激しい攻撃を受けました。主イエスはただ、「時は満ちた。神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」と、優しい言葉でお話になっただけでした。しかし、それまでのしからみに生きていた人々には、主イエスのお言葉一つ一つがとんでも無いことに受けとめられました。

そんなさなかに、サンヘドリンと呼ばれるユダヤの最高議会の議員であるニコデモが、人目をはばかるように、夜ひそかに主イエスを訪問しました。それが今日の聖書箇所です。

ニコデモがなぜ主イエスの元を、しかも夜に訪ねたのか分かりませんが、彼なりの切実な理由があったのでしょう。けれど、なかなか本題に入ることができないニコデモに対して、主イエスから「はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」(3節)と、切り込んでこられました。

新共同訳聖書では「はっきり言っておく。」と訳されたこの言葉は、口語訳聖書では「よくよくあなたに言っておく。」という言葉でした。この言葉は、ヨハネによる福音書に25回登場します。主イエスのお言葉としては、ヨハネによる福音書独特の表現で、ギリシャ語は「アーメン、アーメン、私はあなたに言う。」となります。主イエスが、大切なことを相手との深い繋がりの中で、深い絆をもってお語りになる時、お用いになった言い方です。

ニコデモに向かって、主イエスは「はっきり言っておく。」と三度も繰り返されました。主イエスが、どれほどニコデモを愛しておられたのか、イエス様の思いが伝わってきます。「新しく生まれる」とは「やり直す」と言い替えてもいいと思います。主イエスは、あなたは新しく生まれることができる、やり直すことができる、と宣言なさいました。

主イエスが、ガリラヤで伝道された時の言葉を使うならば、「悔い改める」ということです。悔い改めるとは、後悔することではありません。向きを変えることです。これまでこの世の方に向かってだけ進んでいたのを、はっきりと翻して、神様の方に向かって向きを変えて歩むこと、

それが悔い改めです。そしてここで「水と霊とによって」(5節)とイエス様がおっしゃっているのは、言うまでもなくクリスチャンになるための洗礼を指しています。

悔い改める、向きを変える、言葉としては、易しいです。しかし、自分の力で悔い改めることがどれほど難しいことか、ニコデモにも分かっていました。だからこそ、心にある思いを抱いて、夜ひそかに主イエスを訪問したのです。

新しく生まれる、やり直す、悔い改める、これは、私たちに働きかけてくださる神様ご自身のお力によらなければなりません。そのまま私を神様にお委ねするしかないのです。しかし、私たちにとって、これすら簡単なことではありません。

ニコデモがいつ主イエスの存在を知ったのか分かりません。あるいは初対面であったのかもしれない。しかし主イエスは、相手が初対面であろうが、よく知っている人であろうが、私はよくよくあなたに言う、はっきりあなたに言う、私とあなたとの間には深い繋がりがあ、その繋がりを見出して私と繋がるならば、あなたは新しく生きることができると、直接語りかけてくださいました。

新しく生まれる、これは、上から生まれると訳すことができます。神様から生まれるということ。水と霊とによって生まれるとは、主イエスを私の救い主と信じて、クリスチャンになることです。

クリスチャンとは、キリストを信じることによって、新しく生き始めた人間です。主イエス・キリストに従う者は、新しく生きる希望を与えられます。そして、主が私たちを導いてくださることを信じて、どんな時も神様に向かって祈ることを許されています。神は、私たちの祈りを受けとめてくださいます。私たちの祈りの根拠は、主イエス・キリストです。

主イエスは今日もまた、ご決意が込められた大切な愛の言葉で、私たちに一度だけでなく、何度でも繰り返し語りかけてくださるのです。

(記 説教要約奉仕者)